

第 29 回国連 CEFACT 総会報告

2023 年 11 月

一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会

菅又 久直

第 29 回国連 CEFACT 総会は、2023 年 11 月 9 日-10 日、ジュネーブ（スイス）の国連欧州本部にて対面形式で開催された。総会には XX か国より約 XX 名の参加者があった。日本からは次 2 名が参加した。

清友 大造：JASTPRO（国連 CEFAC 日本代表代理）

菅又 久直：SIPS（アジア太平洋地域ラポータ）

総会は、国連 CEFACT 議長の Ms. Sue Probert により進行された。なお、Ms. Sue Probert の議長任期は次回総会（2024 年 5 月 2 日-3 日）までとなっている。

1. 国連 CEFACT 役員の変更

今回、全ての副議長（6 名）および地域ラポータ（3 名）の変更が行われた。新たな役員は以下の通り。

副議長：

Mr. Steve Chapell（オーストラリア）	新規
MR. Aliakbar Heydarov（アゼルバイジャン）	新規
Ms. Nancy Norris（カナダ）	新規
Ms. Haname Becha（フランス）	継続
Ms. Liliana Fratini Passi（イタリア）	継続
Mr. Nurbek Maksutov（キリギスタン）	新規

地域ラポータ：

Mr. Hisanao Sugamata（アジア太平洋）	継続
Ms. Nogaye Toure Diagne（アフリカ）	新規
Mr. Eduardo Leite（ラテンアメリカ）	新規

2. 国連 CEFACT 開発概要

議長及び副議長より、事務局の決定、促進活動およびプロジェクト活動の概要を含む、第 28 回会期以降の展開の概要を説明した。

- ・ Ms. Sue Probert は一連のビューロ会議を総括。
- ・ Ms. Haname Becha は貿易金融を含む運輸ロジスティクス分野を総括。
- ・ Ms. Liliana Fratini Passi は金融部門のプロジェクトを紹介。
- ・ Mr. Aleksei BONDARENKO は貿易手続関連部門の活動を総括。

3. 地域レポート報告

- ・ Mr. Mor Talla DIOP がサブサハラ（サハラ砂漠以南）で実施された貿易円滑化活動を報告。
- ・ Mr. Hisanao Sugamata は、AFACT の次の新規プロジェクトを紹介した。
 - ◇ 貿易金融プロジェクトのアジア展開
 - ◇ カーボンフットプリント検証プロジェクト
 - ◇ 農業分野 ESG (Ecology, Social and Governance) プロジェクト
 - ◇ Mobility as a Service (MaaS) プロジェクト

4. 勧告

- ・ 国連欧州経済委員会（ECE）事務局より貿易円滑化勧告の総括説明が行われた。
- ・ 国連 CEFACT 議長より、新たに発行された勧告 48 号（Private Sector Participation in National Trade Facilitation Bodies：政府貿易円滑化機関への民間部門の参加）の概説が行われた。

5. 標準

国連 CEFACT 議長より、前回の総会以降に発行された新たな以下の標準が紹介された。

- ・ UN/CEFACT Core Component Library (versions 22B and 23A)
(http://www.unece.org/cefact/codesfortrade/unccl/ccl_index.html) UN/CEFACT
- ・ XML Schema Library (versions 22B and 23A)
(http://www.unece.org/cefact/xml_schemas/index)
- ・ UN/EDIFACT Directory (versions D.22B and D.23A)
(<https://unece.org/uncefact/unedifact/2021-2022>)
- ・ UN/LOCODE Directory (versions 2022-1 and 2022-2)
(<http://www.unece.org/cefact/locode/welcome.html>)
- ・ UN/CEFACT JSON-LD Web Vocabulary
(<https://vocabulary.uncefact.org>)
- ・ All UN/CEFACT e-business standards
(<https://unece.org/trade/uncefact/mainstandards>)
- ・ All UN/CEFACT e-business context files, schemas, and OpenAPI specifications on the Open-Source GitHub Environment
(<https://github.com/uncefact>)
- ・ UN/CEFACT Reference Data Models (RDMs)
(<https://unece.org/trade/uncefact/rdm>)

6. 導入ガイド

以下の導入ガイドの紹介が行われた。

- ・ Single Window Assessment Methodology
- ・ Technical Application of Business Standards for Sustainable Tourism
- ・ Digital Product Conformity Certificate Exchange
- ・ Transfer of Model Law on Electronic Transferable Records - Compliant Titles
- ・ Artificial Intelligence in Trade Facilitation
- ・ United Nations Trade Facilitation Implementation Guide
- ・ Executive Guide on United Nations Code for Trade and Transport Locations Maintenance
- ・ Executive Guide on UN/CEFACT JSONLD Web Vocabulary
- ・ Revision of the Executive Guide on Digital Product Conformity Certificate Exchange

7. ESG 特別チーム報告

以下の ESG 特別チーム（TOS: Team of Specialists on Environmental, Social and Governance Traceability of Sustainable Value Chains in the Circular Economy）報告の紹介が行われた。

- ・ Report of the Team of Specialists on Environmental, Social and Governance Traceability of Sustainable Value Chains in the Circular Economy on its Activities in 2022-2023
- ・ Decisions on Matters Relating to the United Nations Centre for Trade Facilitation and Electronic Business

8. 将来への挑戦

40 年近くにわたり、国連 CEFACT は貿易円滑化と電子ビジネスの分野における基準設定の重要なフォーラムであった。ここでは、主要プロジェクトの進捗状況に基づいて国連 CEFACT の将来についての議論と、将来の優先分野についての議論が紹介された。

第 70 回 ECE 委員会の結果を受けて、各国代表はパートナー機関とともに、経験を交換し、成功事例を共有し、デジタル化と国際化に向けた進捗状況をレビューすることを目的として、既存の国連 CEFACT の専門知識とこれまでの取り組みを基礎にしていく。さらに、デジタルとグリーン変革を政策指針と能力構築にどのように統合できるか、また、国連 CEFACT 基準と支援ツールの導入を促進する方法についても議論される。さらに、各国の代表者は、世界的および組織的な課題に適応するための政

策とガバナンスの方向性について提が検討される。

9. 次回総会予定

第 42 回国連 CEFACT フォーラム：2024 年 4 月 29 日 - 5 月 1 日

第 30 回国連 CEFACT 総会：2024 年 5 月 2 日 - 5 月 3 日

以上